

地域計画会議記録	作成者		開催日時	令和3年6月22日
	作成日		開催場所	高浜市役所会議棟

委員会名	吉浜地区地域計画検討委員会	会議名	第7回 全体会
出席者	別表に示す		
議題	あいさつ 1. 各グループからの発表（これまでの検討概要・スローガンと込められた想い） 2. 吉浜小学校区のスローガンを考えよう（吉浜小学校区の将来像・まちづくりの基本理念）		

	・冒頭にまちづくり協議会と地域計画の関係等について祖父江進行役から説明があった	
	・各グループからの発表	
1.生活委員会	野々山康隆氏	子どもと高齢者と合同のスローガンとした
	「子どもが夢をもち、高齢者が笑顔で暮らせる よしはま」	
2.文化委員会	尾崎稔彦氏	今までに2回集まって議論した
	「受け継ごう 伝統文化 育てよう 未来 ！」	
3.安全防犯	中川孝一氏	地域のつながりが重要なことから防災と同じスローガンとした
	「安心・安全は地域の支えあいから」	
4.安全防災	内藤恭 氏	
	過去に起きた災害の事例を説明、現状の問題点をあげ今後の進め方を発表	
	「安心・安全は地域の支えあいから」	
5.環境	杉浦恵意氏	
	持続可能な行動SDG'sの考え方をとりいれてやれることからやりたい	
	「花いっぱい、笑顔いっぱい、夢いっぱいのまち・よしはま」	
6.イベント	鈴木康博氏	
	吉浜地区内で13団体がそれぞれ別々にイベントを開催しています	
	地域としてこれを統合、主催者ではなく来場者のことを考えたイベントにならないか	
	「みんなでつくる こども夢のまち よしはま」	
広報	広報は「受け手が欲しい時に、ほしい情報」を発信するのが使命である	
	スマホや未来の手段を使ってタイムリーな発信を目指す、受け手あつてのこと	
	「伝えたい・知りたいの宝箱」	
7.運営体制	内藤 充氏	
	考えていたことは少し勘違いしていましたが、一応発表します	
	「徹底的に納得するまで話し合う協議会」	
	「他団体へ活動を強要するのではなく、互いに補完、助け合う協議会」	
	まちづくり協議会の基本条例を再確認しました。今後の問題として公民館とまち協	
	との関係は？とか定年が70才になれば地域活動にかかわる時間が減っていく	

地域計画会議記録 つづき	作成者		開催日時	令和3年6月22日
	作成日		開催場所	高浜市役所会議棟

委員会名	吉浜地区地域計画検討委員会	会議名	第7回 全体会
------	---------------	-----	---------

	休憩の後、吉浜小学校区のスローガンを考えよう		
	将来像は「誰もが住みやすく、安心、安全で活気のあるまち」ですが、これは普遍的な考えであるので事務方としては変更する必要はないのかと考えている		
	鈴木康博氏の発言 考え方はいいけど言葉が硬いのではないか、		
	子どもや若い人に受け入れやすい言葉がよいのではないか		
	野々山徳雄氏の発言 在住の人だけでなく、吉浜に移住した人たちとの接点も考えたい		
	進行 榊原 スローガンのほかに「4つの理念」についても考えていただきたい		
	現在の4つの理念にあてはまらない人たち(若者・弱者・女性等)もあり		
	あたらしいエッセンスをくわえて5つ目をお考えいただきたいと思います		
	書き込み用紙に記入してください		
	記入済み用紙は、椅子の上に置くか、後日まち協にお届けください		
	閉会 20時15分		
	全体会 次回は9月21日(火)		

第7回全体会

出席 42名 欠席 24名

生活子ども	磯村卓也
	伊藤 宗
	加藤応子
	小塚真由美
	杉浦志保
	田中 愛
	内藤尚仁
	野々山知久
	野々山康隆

生活高齢者	石川勝児
	加藤康二
	神谷英利
	川澄トシオ
	菅野洋一
	都築勝美
	野田直宏
	水野義弘

文化委員会	尾崎稔彦
	加藤意敏
	神谷賢吾
	神谷龍奎
	神谷正巳
	下村和江
	杉谷 細
	鈴木英嗣
	都築孝子
	鳥居魁人
	内藤皓嗣
	永田朋子
	野々山清恵
	村瀬 修

安全 防犯	杉浦茂樹
	谷口好美
	中川孝一
	中村 豊
	松下智樹
	三牧秀和

安全 防災	浅岡日出夫
	杉浦大也
	祖父江佑介
	田中 真
	柘植栄子
	内藤 恭
	中川 等
	野間保正
	深尾睦世

安全環境	幸前志津子
	下村政明
	杉浦恵意
	柘植秀治
	村瀬 稔

イベント	鵜芦由未子
	神谷和夫
	神谷達哉
	杉浦雅之
	鈴木康博
	野々山徳雄
	前田 諒
	村松輝一

運営体制	榊原雅彦
	鈴木啓悟
	都築正治
	内藤 充
	前川 勉
	横井光義
	石橋勝治